

令和2年度12月補正予算(案)の要点

1 予算規模

(単位:百万円, %)

		R2	R元	対前年度 伸 率
一般会計 予算規模	補正前の額	931,834	835,226	+ 11.6
	12月補正額	4,179	1,290	+ 224.0
	補正後の額	936,013	836,516	+ 11.9

2 歳入の状況

地方交付税	531百万円
国庫支出金	2,679百万円
寄附金	2百万円
県債	967百万円
合計	4,179百万円

令和2年度12月補正予算(案)の主な内容

新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策

○東京2020オリンピック聖火リレー実施事業 7百万円

新型コロナウイルス感染症対策など、実施延期に伴う情勢変化等に対応し、東京2020組織委員会と連携して聖火リレーの運営等を実施

○キバレ鹿児島！！物産展販売促進支援事業 11百万円

首都圏等の県外で開催する新しい生活様式を踏まえた物産観光展において、物産観光展が有する認知度向上や販売促進といった機能を発揮できるよう開催広告の支援等を実施

○「かごしま木の家」緊急支援事業 99百万円

新型コロナウイルス感染症の影響により木材需要の減少が懸念されているため、かごしま材を使用した「かごしま木の家」づくりを支援することにより、県産材需要の回復を促進

○高齢者施設におけるオンライン面会支援事業 8百万円

県所管の老人福祉法における高齢者施設（養護老人ホーム、軽費老人ホーム）でオンライン面会を行うため、タブレット端末やWi-Fi等通信環境整備に係る経費を助成（財源の一部に鹿児島銀行からの寄附金を活用）

○HACCP等認証取得支援事業 46百万円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、厳しい経営環境下におかれている県内食品製造業者等の経営継続、競争力向上を図るため、HACCP等の食品衛生管理に係る認証取得に向けた取組を支援

○多様な働き方推進事業 74百万円

テレワーク等「働き方の新しいスタイル」への対応をはじめとした多様な働き方が可能な職場環境づくりを推進するため、県内企業からモデル企業を選定し、テレワーク等の実現を伴走支援するとともに、必要な経費を補助

○コロナ禍における外国人材受入支援事業 102百万円

新型コロナウイルス感染症の水際対策として国から要請されている入国後14日間の待機など、外国人技能実習生等を受け入れるに当たって、受入事業者が追加的に負担する経費を支援

○水産物製造業等の感染防止対策支援事業 393百万円

水産加工製造業者等が新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として行う換気対策等の施設改修等に要する経費を助成

○かごしまのさかな稼げる水産物商品開発事業

54百万円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等に伴う外食から家庭食など国内外の新たな需要に対応するため、水産技術開発センターに必要な加工機器等を整備し、県内水産加工業者と協力して稼げる水産物商品を開発

災害復旧対策

○災害復旧事業等

2,747百万円

令和2年7月豪雨等により被害を受けた林地、港湾、漁港、空港、県有施設等の復旧等を実施

○中小企業施設等災害復旧事業

297百万円

令和2年7月豪雨により甚大な被害を受けた地域において、県が作成する復興事業計画に基づき、中小企業等が行う施設・設備の復旧等に要する経費を助成

その他の事業

○特殊病虫害対策事業

110百万円

カンキツなどの害虫であるミカンコミバエによる本県農作物への被害を防止するため、トラップ調査や誘殺板の空中散布等を実施

○燃ゆる感動かごしま国体・大会2023年開催決定気運醸成事業

29百万円

2023年に延期となった「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の開催に向けて、広報物のリニューアルや後催県との交流事業等を実施

債務負担行為

○公共・県単公共事業(ゼロ県債)

6,031百万円

公共事業及び県単公共事業の発注・施工時期の平準化

○指定管理者の更新

8,931百万円

鹿児島県文化センターなど20施設について、指定管理者の更新に伴う経費を計上